

## 果樹カメムシ類の発生に注意してください！

岡山県病害虫防除所の調査によると、赤磐市の集合フェロモンにおける6月1半旬～6半旬のチャバネアオカメムシ誘殺数は1,894頭と平年(315.9頭)より多く、また、同期間の予察灯におけるチャバネアオカメムシ誘殺数は176頭と平年(79.0頭)より多くなっています。特に、6月5半旬から6半旬にかけて誘殺数が増加しています。

広島地方気象台が6月27日に発表した1か月予報によると、気温は平年より高く推移するとされ、ほ場への飛来に好適な条件が続く見込みです。

**果実が肥大して果実と袋が接触するようになると袋の上からでも加害されるため、今後も果樹カメムシ類の発生動向に注意し、発生が見られるほ場では防除を徹底してください。**

### <防除対策および防除上の参考事項>

- 1 樹や園全体を目合い4mm以下の防除ネットで覆う。ただし、すでにカメムシが発生している樹にはネットで覆う前に必ず薬剤による防除を行う。
- 2 モモやナシで使用する防除薬剤は、病害虫発生予察注意報第1号(令和6年5月10日発表)を参照。
- 3 黄色灯を設置し、終夜点灯する。黄色灯の点灯はチャバネアオカメムシには忌避効果があるが、クサギカメムシには効果がない、また、カメムシの発生が多いと十分な効果が得られないこと等から薬剤防除を徹底する。
- 4 薬剤の散布にあたっては農薬使用基準を順守し、人畜、水産動物等への危害防止に努め、安全・適正に使用するとともに、周辺農作物等へ飛散しないよう十分注意する。
- 5 最新の農薬登録情報は、農林水産省ホームページの農薬登録情報提供システム (<https://pesticide.maff.go.jp/>) で確認できる。

### <参考事項>

- 1 病害虫発生予察注意報第1号(令和6年5月10日発表)
- 2 チャバネアオカメムシのフェロモントラップによる誘殺数の推移(下図)

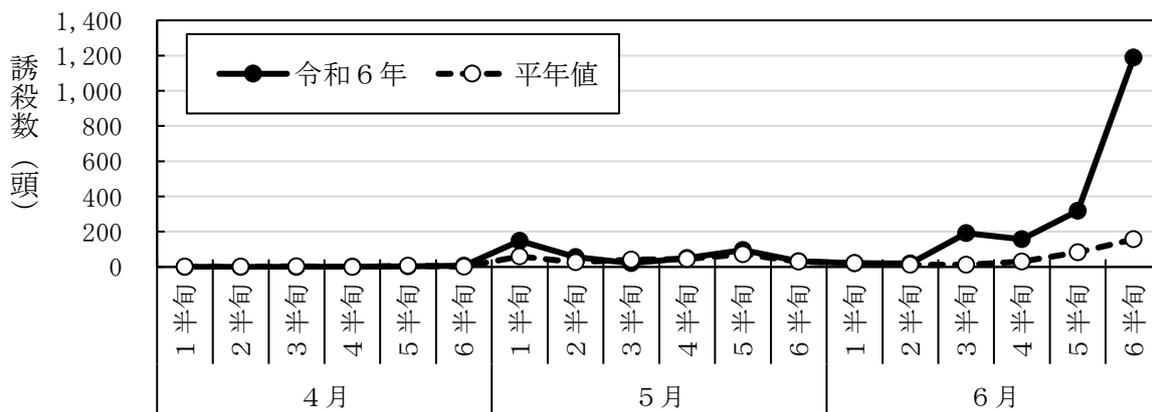


図 令和6年度赤磐市におけるチャバネアオカメムシのフェロモントラップへの誘殺推移

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。  
アドレスは、<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/239/> です。

